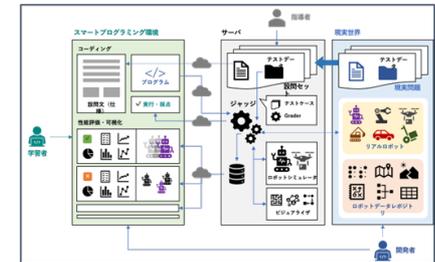




第4回新産業創出等研究開発協議会（会津大学）

○ F-REIからの受託事業

「ロボットスマートプログラミング環境を用いたロボット開発・人材育成」を2023年度より開始（7年間）。プログラミング教育で定評のある会津大学「Aizu Online Judge（AOJ）」の概念をロボットプログラミングに適用し、ロボットに関するプログラミングの検証などのスマートプログラミング環境、シミュレーターによるロボット性能評価と、その教育応用を目指す。



スマートプログラミング環境のイメージ

○ 復興知事業

南相馬市の高校生等にロボットやプログラミングに関する技術習得、他大学や地元産業界と連携した人材育成に取り組んでいる。2024年度受講生（延人数）は計464人（Pythonプログラミング404人、ロボット技術60人）。

今年度が事業最終年度に当たるが、本学の得意とするICTを活かして福島の復興・創生に寄与するもので、地元の期待も大きいことから、ぜひ同様の事業を継続を期待したい。



7/5 RTF カンファレンスホール

○ F-REIトップセミナー

5月27日に新入生（229名が参加）に対して、山崎理事長より「コンピュータ理工学部の皆さんへ～これからどう過ごす？ 大学ライフのススメ～」と題して御講演をいただいた。2023年度から続くもので、教育上、大変重要なものであり、継続実施をお願いしたい。



5/27 会津大学 大講義室

○ ロボットテストフィールド（RTF）

今年4月に県からF-REI所有となったRTFでは、昨年度造成した模擬月面クレータを活用して、本学が推し進める「月火星箱庭構想」関連の実証試験に地元企業と連携して取り組んでいる。

また、10月にRTFを会場として開催されるF-REI主催のWRS2025では、本学単独のみならず地元との共同チームでも出場する予定であり、開催地福島のチームとして良い結果を残したい。



模擬月面クレータ（RTF）



WRS2025プレ大会（RTF）